



# 事業概要【人材・学・企業の結集「課題先進地からのデジタルイノベーション戦略」】

旧制度（推進）

申請者	新潟県ほか16自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	661,686千円（130,761千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	全国に先駆けて直面する課題を变化の先頭に立つアドバンテージ、未来のヒントと捉え、課題解決や新規ビジネス創出に意欲ある企業・人材・大学等の結集を図り、新潟県の強みであるものづくり産業や農林水産業をデジタルの力で変革し、地域から魅力あるビジネスとしごとを生み出す。		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<div> <div> 1 地域課題の抽出・ブラッシュアップと意欲ある企業・大学等とのマッチング、サテライトオフィス立地支援（37,630千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と企業をつなぎ共創する「チャレンジ新潟」</li> <li>・大学と企業のマッチングと連携事業の支援</li> </ul> 2 中小企業・町工場等のDX推進（23,553千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>・IT企業を活用した中小企業DX推進事業</li> </ul> 3 デジタル人材の育成・確保（9,100千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル人材の育成支援事業</li> </ul> 4 人材を呼び込むためのU・Iターン、地域課題を起点とした関係・交流人口の拡大（55,478千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域版就業マッチングプラットフォームの運営</li> </ul> 5 デジタル実装の取組等デジタル実装（5,000千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交通サービスのデジタル化</li> </ul> </div> <div> 自治体と課題解決企業のマッチングイベント  </div> </div>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①関係大学卒業生の県内就職率（+5.29%） ②新規ビジネスによる付加価値創出額（+25.5億円） ③サテライトオフィスの立地件数（+115件） ④人材・企業・大学が結集するエコシステム形成（+1：達成に向けて取り組む）	関連URL	<a href="https://www.challenge-niigata.com/">https://www.challenge-niigata.com/</a>

※新潟県、長岡市、三条市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、魚沼市、南魚沼市、弥彦村、阿賀町、湯沢町、津南町の広域連携事業

# 事業概要【村上からMURAKAMIへ 世界へ向けた村上の観光推進プロジェクト】



申請者	新潟県村上市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	25,300千円 (8,400千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	村上市は新型コロナ収束以降の観光入込の回復が滞っており、認知度不足や新たな旅行ニーズへの対応が課題。当事業では万博を契機に、関西を中心とした国内及び国外へとプロモーションを広げ、観光誘客を強化。本市の「鮭の食文化」をはじめとする豊富な食材・自然・歴史文化を官民連携やテクノロジーを活用して観光誘客と産業振興を促し、受入体制の整備を進めることで、村上からMURAKAMIへ、国際基準の観光地への変革を目指す。						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○関西を中心とした情報発信強化と、観光物産フェアなど現地プロモーションを展開し、関西を中心に国内誘客を促進させる</p> <p>【委託料】3,250千円</p> <p>○海外インフルエンサーや専門家を招聘し、SNS等を通じた情報発信のほか、インバウンド向けツアーの造成等を行う</p> <p>【委託料】2,750千円</p> <p>○おもてなしの充実や、デジタルツールの導入等を通じて受入体制の整備を進める</p> <p>【負担金】1,500千円</p> <p>○分析ツールを用いたデジタルマーケティングを行い、より事業の実効性を高める</p> <p>【使用料】900千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>地域の観光産業に関わる多様な団体と連携し、定期的な情報共有の場を設けて共通の目的を持ちつつ施策を展開する。</p> <p>また、本事業が主なターゲットとしているインバウンドや関西圏エリアに対して、食文化を核としたプロモーションを展開する中で、地域主体の商品開発やコンテンツ造成はもちろんのこと、県外の自治体や民間とも連携しながらプロモーションを行うことで実効性を高められるよう取り組む。</p>					KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+10,314万円) ②観光客入込数 (+626,337人) ③②のうちインバウンド誘客数 (+256人)

# 事業概要【新潟と東北を結ぶゲートウェイ道の駅朝日リニューアル事業】

申請者	新潟県村上市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,995,123千円 (15,161千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"><li>産地直売所、物販、レストラン等の機能をもった「道の駅」を新設し、魅力的な地場製品の販売や食の提供等を通して町内事業者の所得向上を図るとともに、町内観光資源のつなぎ手となり、観光消費額の増加など、市内各地へ経済波及効果をもたらす拠点施設とする。</li><li>事業者向けに、特産品を活用した新商品開発にかかるセミナーを実施し、農業従事者の所得向上に寄与する。</li></ul>							
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>日本海沿岸東北自動車道の新潟・山形県境区間である朝日まほろばIC～あつみ温泉ICは、平成25年に国道7号「朝日温海道路」として事業化され、日沿道の早期全線開通に向けて大きく前進しています。この道路延伸は、地域の発展にとって非常に重要な意味を持ちます。新潟と東北を結ぶ交通網が整備されることで、地域の資源や文化、観光地をより多くの人々に知ってもらう絶好の機会となります。</p> <p>この新たな道路の整備を契機に、地域の魅力を最大限に引き出し、発信するため、道の駅朝日をリニューアル整備し地域の中核的な観光拠点として位置づけることにより、訪れる人々に対して新潟と東北の魅力を伝えるゲートウェイとしての役割を果たすことを目指すと共に、地域課題の解決を図ります。</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <p>道の駅に農産物直売所と物産会館を集約した販売棟、及びレストラン棟をリニューアル整備する。</p> <p>・施設整備 15,161千円</p>							
地域の多様な 主体の参画	地元の生産者と連携し、新鮮で高品質な商品を提供することでリーダーの獲得を目指します。また、地域イベントやワークショップを開催し、地域住民や観光客が参加できる場を提供することで、地域コミュニティの中心となることを目指します。さらに、村上市総合計画審議会において、事業実施状況及び実績の報告を行い、課題の抽出、改善点の議論・検証を計画に反映します。						KPI	<ul style="list-style-type: none"><li>① 市内の観光入込客数（+55万人）</li><li>② 道の駅朝日の売上額（+4000万円）</li><li>③ 道の駅朝日の入込客数（+40万人）</li><li>④ 道の駅朝日での出品登録者数（+15件）</li></ul>
※経費内訳はR7年度事業費						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値		



事業概要【サケの伝統文化が息づくまちの賑わい創出プロジェクト】

申請者	新潟県村上市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	47,200千円 (18,200千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・鮭採捕施設の改良及び稚魚購入・放流事業に補助を行い、鮭の効果的採捕とふ化増殖事業の維持継続、漁業経営の安定化を図る。</li><li>・地元からの生鮭・鮭特産品の流通は地域経済を活性化し、鮭をテーマとした観光等での賑わい創出に寄与する。また、特色ある伝統文化の継承は鮭のまち村上の魅力の向上につながっていく。</li></ul>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 鮭の採捕機能が低下した施設を改良し、ふ化増殖による稚魚の安定数放流に向け進める。また、現在鮭の不漁で経営状況の厳しい漁協を支援するため、稚魚購入と放流事業に対し補助を行い、ふ化増殖事業の維持継続を図るとともに、観光コンテンツの拡充を目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】 観光コンテンツとしての魅力を強化するため、伝統的鮭漁法「居繰り網漁」を継承する取り組みを行う。 ・居繰り網漁継承事業 2,200千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 遡上した鮭を効果的に誘導するため、三面川の鮭採捕施設を改良。 ・鮭採捕施設改良工事 16,000千円</p>					 	
地域の多様な 主体の参画	各産業の代表団体と観光まちづくりのための方向性、各種施策を共有、定期的な事業検証の場を設定することで、PDCAを回しながら各種観光施策を進める。村上市総合計画審議会委員として、市民の代表としての立場や市民からの相談から得られる知見を踏まえて協議に参加する。事業実施状況及び実績の報告を行い、課題の抽出、改善点の議論・検証を計画に反映する。					KPI (★は必須KPI) <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	★①市内漁業協同組合の水揚げ (+3,000万円) ②観光入込客数 (+450,000人) ③市内鮭の採捕尾数 (+7,198尾) ④市内鮭稚魚の放流数 (+2,209,066尾)